

事業番号										132	
平成25年行政事業レビューシート（厚生労働省）											
事業名		エイズ対策費			担当部局庁		健康局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成13年度			担当課室		疾病対策課			疾病対策課長 田原 克志	
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－5－2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令（具体的な条項も記載）		感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第11条			関係する計画、通知等		「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」平成24年厚生労働省告示第21号				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		「エイズ予防指針」に基づき、エイズの発生の予防及びまん延の防止のための相談・検査体制の維持強化、適切な医療提供体制の確保などのエイズ総合対策の各施策を推進する。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）		①医療提供体制確保経費：各地区ごとにブロック会議（連絡会議）の開催 ②エイズ対策評価検討経費：エイズ予防指針進捗状況評価事業、関係省庁間連絡会議の開催									
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他									
予算額・執行額 （単位：百万円）				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		予算の状況	当初予算	19	11	8	7	7			
			補正予算								
			繰越し等								
		計		19	11	8	7	7			
		執行額		8	6	3					
執行率（％）				42.1％	54.5％	37.5％					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 （年度）	
		関係省庁や特定の都道府県等との総合的なエイズ対策施策の検討及びエイズ対策評価の検討に基づき、エイズ対策の推進を図ることが目標である。			成果実績	－	－	－	－	－	
					達成度	％	－	－	－		
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
		関係省庁や特定の都道府県等との会議の開催実績			活動実績 （当初見込み）	－	ブロック協議8回 重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡会議1回	ブロック協議8回 エイズ予防指針作業班9回 関係省庁間連絡会議1回	ブロック協議8回 重点都道府県等エイズ対策担当課長連絡会議1回	ブロック協議8回 重点都道府県等エイズ対策担当課長会議1回 関係省庁間連絡会議1回 エイズ対策施策評価検討会1回	
							－	(ー)	(ー)	(ー)	
単位当たりコスト		777,778(円/会議)			算出根拠	単位あたりコストの算出において、Xは平成24年度予算額(7百万円)、Yは上記活動実績の平成24年度数(9回)とする。					
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由						
	諸謝金		0.6	0.6	員数を見直したため						
	職員旅費		0.6	0.6							
	委員等旅費		0.7	0.6							
	庁費		5.3	5.3							
計		7.2	7.1								

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	HIV/エイズに関する国や自治体の施策を評価し、今後の施策に反映させることによりHIV/エイズの感染拡大防止を図り、また、各ブロックの患者や医師等と連携を密にし、HIV医療水準の向上を図るものであり、国民のニーズが高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	感染症法において、国及び都道府県等は、感染症に関する各種施策の推進及び施策の総合的かつ迅速な実施のための相互連携の責務を負っていることから、自治体を含むエイズ施策全体の評価を行い、今後の施策の方向性等を検討し、また、HIV医療の地域格差を是正し、均てん化を図るため、地方自治体等には委ねることができない。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	HIV/エイズに関する国や自治体の施策全体の評価を行い、今後の施策等の方向性を検討するため、優先度の高い事業となっている。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	HIV/エイズに関する施策評価検討会や各ブロックでの連絡会議等の開催のための謝金や旅費、事務費等に支出しており、真に必要なものに限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			△	印刷物の部数が見込より少数であったこと等により、印刷費や発送料等が見込より少額となったため。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			－		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	平成24年度は、前年度に比べ会議開催実績が減少したが、平成23年度に改正した「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」(エイズ予防指針)に基づき、都道府県等との連絡会議を実施して施策の情報共有及び検討を行うことにより、エイズ対策の推進が図られたところである。 また、平成24年度は一定の不用を生じているが、国民のニーズや優先度、国が実施すべき責務、資金の費目・使途等の各点検項目を概ね満たしており、引き続きエイズ予防指針の趣旨を踏まえ、適切に事業を行う必要がある。					
外部有識者の所見						
執行率を勘案し、予算額への反映が必要である。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	「エイズ予防指針」に基づく施策の進捗状況評価や各地域におけるHIV医療体制整備のための会議を開催し、エイズ対策を推進するための経費であるが、執行状況を踏まえ、予算の縮減を図るべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	執行実績を踏まえて、積算を見直したことによる減。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	166	平成23年	0143	平成24年	115

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省



A.事務費
3百万円

〔 諸謝金、旅費、庁費 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	会議出席謝金等	1			
旅費	会議出席旅費等	1			
庁費	会議費、消耗品費等	1			
計		3	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					